

## 新製品・新技術特集の発刊に際して

執行役員フェロー  
技術戦略推進室長

徳永 節 男  
Setsuo Tokunaga



新製品・新技術特集の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

三菱重工は、世界約 300 社で構成されるグローバル企業として、日本のみならず、世界へ活動領域を拡大し、「世界のお客様や地域社会とともに、持続可能な社会の発展に向けて、世界を前に進めていく」ことに貢献するため、もてる資源を高度なマネジメントで活用し、グループ一丸となって取り組んでいます。

昨年5月には、持続的な成長軌道の第一歩として「2018 事業計画」を発表、更なる事業拡大を図り、事業規模 5 兆円の高収益企業を目指すとともに、長期ビジョンに基づく成長戦略として、“MHI FUTURE STREAM”を発表しました。この長期ビジョンでは、気候変動、都市化等への対応として、脱炭素や物流・交通システム、自動化・自律化などに取り組んでまいります。

当社グループは、常に社会から求められる存在となるべく、急速に変化する社会のニーズをいち早くとらえ、現在まで培ってきた当社の豊富な技術力をもとに、次世代を担う新技術・新製品の開発に取り組んでいます。

そこで、本号では最近の成果の一端として、20 件の新製品・新技術を紹介します。脱炭素に向けた取組みとして、CO<sub>2</sub>を排出しないエネルギーとしてのアンモニアの利用技術を、物流・交通システムの取組みとして、自動車ターボチャージャー用モータ、航空機の先進構造、熱硬化複合材部品の開発プロセス改善、大規模非定常数値解析を用いた航空機開発、衛星の推進系や宇宙ステーション補給機 HTV-X の開発について紹介します。自動化・自律化では、航空機構造解析作業の自動化、工作機械の IoT モニタリングシステムについて紹介します。

また、船用エンジン向け新型過給機、高粘度汚泥乾燥機、建物の揺れを低減する制振装置、製造現場の 3D 化を実現する 3D VIEWER システム、高精度加工を実現する工作機械などの新製品や、配管減肉の防止技術、超音波探傷技術、気液二相流の数値解析技術、高周波電流の流出防止技術、革新的な歯車加工技術についても、紹介します。

これからも私どもの活動に対し、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。